

新聞の見出しを考えてみて、読む人が目につくような、興味を持ってもらえるような見出しを作るのは、とても難しいと感じました。

そのような作業を毎日行うのは、大変だと思います。でも、自分の考えた見出しが好評だったら、やり残えになり、続ければれるのかなと思います。

私は普段、新聞を読んでいたいけど、毎朝、1つの記事だけでも見てみたりなど思いました。

新聞は、確かに事実に基づいて書かれているな、と感じました。

朝早くから届いているのに、前の日の夜のニュースが書かれていたりするので、

短時間で情報を集めて整理して書いて...と、すごいなと思いました。

投書の題名も新聞社がつけていた、と思ってびっくりしました。

毎回読みたくなるような題名ばかりで、見出しだけで第一印象も変えることができる

すごく素敵なお仕事だと感じました。今回のように一般の人からもSNSなどで

題名を考えてもう企画があればもっと盛り上がるんじゃないかな、と思います。

*このまま左端NTCホールページへ戻るか左側メニューに書いてください

*名前は載りません。

新聞は、当たり前のことでもきちんと事実確認をしたり載せてほしいと言話を実体験も交えて聞くことが大切で、新聞社の人たちは私たちに正しい情報を伝えるためにたくさんの労力を使ってくれているんだなと改めて感じました。また、記事の題名を考えるのはとても難しく、いつもおもかく読みたくないような題名を考えている人たちはすごいなと思いました。

山口トヨベルを取材したり、貴重な方話を聞くことができた
などいい印象がついた。実際に年を重ねて記者は見
出しあるうえで色々と色づいてしまったが、だからといって行動
が萎縮してしまった。朝日新聞社の人から今田学んだことを
今後のNIE活動に生かしていく所存です。

私が心に残っている西見さんのお話は、豚は本当にがひと鳴くのか、ひ
した。本当にがひと鳴くのか、疑問に思い自分で確かめに行く。まず豚
の鳴き声にどういった考え方をするのか"すばらしいと思いました。それに、わざわざ自分で足を運んで確かめると、真実を知りたり、自分で見て聞いて確かめた"という気持ちが
さすが記者の方たちの気持ちは、強いなと思いました。私はそんな当たり前のことで疑問
を持ち、知りたいという気持ちを大切にしたいと思いました。

今回の事を通じて、普段のNIEの活動では知れないようなことをくわしく知ることが
できました。

それに、実際に1つの記事に見出しそつけてみようというものをやって、人が興味をもつ
ような見出しそを考えるのは難しいと感じました。だから、元のような事をいつもしてい

今回の講習を受けて記者は真実を矢ぬためにいろいろな所に出向いても奮闘しているんだという事を矢口りました。

そして 記者はとても大変な事もあると思うけれど、楽しい事も多くあるんだ"と思いました。
また記者はタイトルを考える天才だ"と思いました。

記事のレイアウトについてや、文章のことなど普段の授業では知らなかった"きばい"ことを知る事ができておもしろかったです。

特に私がおもしろいと思ったのはリオ五輪と東京五輪の記事の違いです。

リオ五輪の時はオリンピックに関係することを全面に書いていたけど、東京五輪の時には写真を減らして端に違う記事があることで社会の状態の違いが出ていておもしろいと思いました。

また、政府の意見に賛成するような記事だけでなく、時には反対するような記事もあり、新聞はおもしろいと改めて思いました。

記事の見出しを考えるワークショップでも、100%見て読みたいと思うような見出しおを考える事は難しく、新聞社の人のすごさを実感しました。

普段何気なく読んでいる新聞だけれど、あめだりの枚数の紙に、いくつもの最新情報を報じる記事が載っている。これは改めてすごいことに感じました。

「ニュースの載った紙」であり、「たくさんの人のがんばりが詰わったもの」と再認識させられました。

それまでの新聞社が、新聞社や政府の誤りを指摘し、正しいものを報道する

というのは、社会で習った三権分立の仕組みに似ていると思われた。

同じ記事でも新聞社たる記事の書き方へ違うと100%も、実際に比べてみたところ
がいいので、いくつかの社のものを集めて読み比べをしてみたいのです。

新聞とSNSなどのニュースをじの違いは、「事実の裏付け」の違いだ。と教えて下さい。下時、第一に確かにうたはな、と思いました。また、毎日新聞を私達に届けるため、記事を決める会議を行っていましたを知り、新聞の100%により關係者が連絡をしました。

貴重な時間をありがとうございました。

記者の仕事は想造っていたよりも大変で、1人1人の思いがこの小文の記事へたくさんつまっていることへの感激でした。見出しと本文どちらか挑戦しましたが、どうやら内容を表せられ、どうやら読者へ目にとまらせる、を考えながらとても難しかったです。

取扱われた稿ではニースを伝えて下さい、この新聞関係者の皆さんに感謝していますと感じました。
西見さん、本当にありがとうございました。

今まで新聞関連の講座を2回ほど受けさせていたしましたことあり
あるのですが、今回も新しいことをたくさん知れてよかったです。
1つ1つのことを決めると色々な地域の人が大勢関わっています。
新聞が民主主義の日本を支えていますと、新しい発見ができました。

SNSやインターネットが発達している中、新聞の必要性とは、
自分なりに考えたが、本と同じでものとして記事を残すことでの
良い出来事の記事は大切な思い出になってしまった、逆に事件、事故、災害などの
あまり良くない出来事の記事は、未来の日本をつけていく新しい世代の人々へ
受け継いでいる、忘れないようにする役割があると思った。
家で新聞はとっていませんが、中学校で新聞を手にとって読みながら活用することができた

普段は、聞けない話をたくさん聞いてよかったです。
毎日 頭痛をつけていたりするのは大変だと思います。
私は、新聞をやっていくつかみのNIEのことを聞いたけれど、それもまた興味いました。

新聞がどうやってつくられているのかを聞いて、少し今までとは新聞の見方が変わった。
新聞の役割は、ニュースを広めることだけだと思っていたけど、悪いことを抑制する役割もあると聞いて、だから世論の中で大切な役なんだと分かった。見出しを付けるときに大切なことを聞いて、分かりやすいのはそうやって付けているからだったんだと分かった。実際に自分でやってみると、思いの外難しかった。その記事に記者の方が付けた見出しを読んで、確かに分かりやすかった。

今回、西見誠一局長のお話を聞いて、新聞は社会にとってどんな役割をしているのかを、知りました。また、わたしたちがあまり、知ることのない記者さんのお話を聞いて、記者さんは色々な事を自分で見て考えたり記者さん同士で話し合って考えるのはとてもすごいなと思いました。今回は、なかなか普段知ることができない記者さんの仕事や新聞の話を聞いて、未来には、新聞と記者さんは必要だと思いました。

新聞記者が大切にしていること、また、新聞への考え方を知ることが
できる良い機会になりました。

今回 NIE の授業を受けて新聞は読者に読んでもらいたいので見出しが重要だとわかりました。
新聞には見出しからなく紙面を作っている人たちが1日でたくさんの見出しが考えられていることに驚きました。
見出しあつけるのが美しいのにそれをくわづけている新聞社の方々はとてもすばらしかったとわかりました。

新聞の作り方が分かった

新聞の大切なこととして、「権力の監視」だと聞いっても驚いた。僕は事実を伝えたいが大切だと思っていたが、政府だけでなく、メディア同士で監視をするということも、大切だと感じた。
社説を書くために毎日議論を交わしていると知り、今後読むときにはもう少し深く考え方があると読もうと思った。

見出しやレイアウトを決めるための部分があると初めて知り、見出しのつけ方も上手だと改めて感じた。

新聞について、いろんなことを教えてくれたりありがとうございます。
自分たちが見ている新聞の、レイアウトをしたり見出しを考えたりしてみてほしいと感じました。
パワホを見たかったです。

これからも、NIEの取り組みを頑張りたいと思ひます。

新聞の見出しを考える時間の中で周りの人たちで良いアイデアなどと思うものが沢山あって、代表で話した生徒の赤い糸電話という見出したとても良いな感じました。ただ、見出しを考えるのに結構な時間がかかったのに沢山の記事に読み手の興味をいくような見出しが考えている新聞記者の方々は本当にすごいと思いました。

新聞は最近デジタル化が進んで、紙の方はあまり見ないよと思つてはいたが、
情報を伝えるのいい手段なんだよと思つて、読んでみようかなと思いました。

普通は聞けないような貴重なお話を聞けてよかったです。
ブタの鳴き声の話で実際に開きに行つたという話でとても驚きました。
新聞記者の新聞に対する情熱はとてもすごいと思いました。

新聞にたたかれたことを載せるのではなく、どうしたら、この目がいくようになるかなど、
すごく詳しくいくことを知った。
話の題名でも、読みたいと思ふるような、端にするなど、話によつては、すごく興味をもつた
と思うから、すごく好きと思った。

おはなしとよく二どばび
よひつけたびです。
たのいめいと、ゑびわいに
きぬまけ。

新聞に関しては、あまりよく分からぬことを多くあつたけれど、お話を聞いて
どのようにして作かれているかなどを矢口ができたと思います。
実際に見出しを付けるのは、難しく、興味を持てもらえるように考へられて
いるのだなと思いました。

僕は今まで新聞がなくなってしまった、みんなが情報を知る手段が減るだけだと思つて
いた。しかし、授業を受けて、新聞が社会の均衡を保つていてことや、新聞が人々に情報を
伝える以外にも、社会にとって大切な役割があることを学びました。これからは、そういう視
点を身につけた上でNIEに取り組めたらいいなと思いました。

普段聞けないような新聞の話が聞けてよかったです。

新聞とネットニュースで、しんぶう性かなぜこんなにも
違うのかと気になりましたが、本当かどうか~~西見さん~~
すると聞いて、すばらしいなと思いました。
面白いお話をありがとうございました。

見出しを自分で考えてみたら、なかなか思いつかはなかったから新聞などの見出しが
作る人はすごいんだなと思いました。西見さんに話していただいたことをNIEでやってみようと思
いました。

新聞がネットに勝るものは裏を取る真剣さだと知りました。

記者の方々の究極の目的が権力の監視と聞いてからいいなと思いました。

新聞社のお仕事は具体的に何をしているのかどうか出てくるようなお仕事なのが知らなかつたので今回、短い時間ではありましたが、詳しくお話を聞かせていただき機会をもられて楽しい時間となりました。

アメリカのベル?という小さな町で新聞がなくなつた事により、市の行政官が20年間で勝手に20年間で12倍にも給料をあげている問題の話を聞いて記者の方々は番犬のような存在なんだろなと思いました。とても大切な存在を粗末に扱つてはいけないと改めて知れて良かったです。これからも素敵を見出しあふるよう新聞と近い存在でありたいなと思います。

*このまま 兵庫NIEホームページに載るかもしれません。字を丁寧に書いてください。

*名前は載りません。

今回見出しおつけたりおしゃれしたか!読者が"どうすれば"読みたいくと思つてくればそれを考えるほどほんとうに難しいことだ"と思いました
が新聞記者の方は全ての記事に読者が"読みたいく"と思える
ところを見出しおつけめのほどほども"いい"と思いました。
これから新聞で権力とまじで見出しあはれ目で読んで"いい"です。

・今日はNIEパートの取り組みの一環として、エマーブルお話を聞かせていただいた三
つとも貴重な時間となりました。

・不断、何気なく読んでいた記事にはタイトルの工夫をし、読み手の気をひく記事に
されており、今日、タイトルを実際に考え思われました。

・生徒代表の意見もさまたがタイトルが出てこないしたが、シニアルが短く相手に
すこ伝わり、物語を実際に読んだあとでも、結構のいくタイトルで「いい」かと思
いました。

・記事の内容を文章を簡潔にまとめるといつて、表現の仕方に目をひかれるところに
からついて、話にみんなされました。